

会 議 録

会議の名称	令和 6 年度第 2 回名取市行政改革推進会議
開催日時	令和 6 年 11 月 25 日（月）午後 1 時 00 分～午後 2 時 10 分
開催場所	議会棟第 1・2 委員会室
出席者	永澤会長、伊藤委員、洞口委員、浅井委員、大林委員、中島委員、須永委員、小林委員、高橋委員、佐々木（菜）委員
欠席者	相澤委員、林委員、布田委員、佐々木（彩）委員
事務局	小平企画部長、針生政策企画課長、佐藤課長補佐、 新田主幹兼行政管理係長、佐藤主査、吉崎主査
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0 人

1 開会

2 会長あいさつ

永澤会長

3 会議の公開について

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条第 2 項の規定により本会議が公開の対象であること、同要綱第 4 条の規定により全て公開とすることに問題はない旨を説明。協議の結果、公開することに異議はなかった。また、議事録は要点筆記とすることについて諮り、了承を得た。

4 議題

(1) 協議事項

「第七次名取市行財政改革大綱実施計画（素案）」について資料を基に事務局説明。説明後、会長より資料 1 から 3 について委員に意見・質問を求めた。

委 員 基本的な書き方について。第 7 次で新たに追加となった項目だが、取組年度の初年度となる令和 7 年度が「継続」（●）で始まっている理由は。

事務局 例えば【第 1 節（1）ア 6、7 番】「包括連携協定の推進」は、計画上は新規項目

だが、既に実施している事業であるため、（計画初年度である）令和 7 年度から「継続」としている。

委 員 【第 1 節（1）イ 5 番】所管課決まっていないのはなぜか。また、数値目標の根拠は何か。

事務局 ナトぼたは DX 推進室が所管している。DX 推進室については、時限的な部署となっており、来年度以降の方向性は現時点で決まっていないため「●●課」と表記している。数値目標については、初年度においては人口 78,000 人の 10%の 7,800 件とし、それ以降についても、市民に使っていただくプラットフォームとして広く利用していただくため、目標値を伸ばし、令和 11 年度の目標値を 10,000 件としている。

委 員 【第 1 節（1）イ 5 番】令和 5 年度ダウンロード数からすると、目標値のハードルが高いのではないか。

事務局 令和 5 年度ダウンロード数は、ナトぼたが令和 6 年 3 月のリリースのため、1 ヶ月分の件数となっている。現時点でもダウンロード数が低迷しているところであるが、今後も市民の情報プラットフォームとして活用していく上では、目標に向けて努力する必要があるため、計画上是初年度 7,800 件を目標値としている。なとりコインについても令和 6 年度からリリースしており、両サービスに登録しアンケートをお答えいただいた方に 500 ポイントを進呈する事業を実施している。それ以外にも、市の施策に協力をいただいたボランティアの方やアンケートを行った際にポイントを提供するなどの事業を今年度実施し、ダウンロード数を増やしていきたいと考えている。

委 員 【第 1 節（1）ウ 1 番】【第 1 節（1）エ 1 番】目標値が低いのではないか。

事務局 審議会等への女性の登用推進について、少しずつ女性が増えてきているところではあるが、外部の産業団体等への依頼により選任頂くケースも多く、抜本的に増やすというのは難しい状態である。第 3 次名取市男女共同参画計画の令和 12 年度までに 35%という目標値を着実に達成するため、今回の計画ではこの目標値としている。市の管理職への女性登用推進においても、今後 5 年間をかけて引き上げていきたい。

委 員 意見として。名取市では女性登用率が低いと感じる。後の計画に出てくるが、「人材育成」の部分に入ってくるのではないか。男女の区別なく、能力により登用するのが普通と考える。目的が女性の管理職を増やすことなく、性別が関係なく仕事ができることが人材育成であると考えている。

委員 図書館のカードとナトぼたが一体化することにより、図書館の会員数が増えたりダウンロード数が増えたりするのではないかな。なとりコインも利用しているが、（市では）興味を持たせられるものを一生懸命行っているの、利用者がさらに使いたいと思うことを続けてもらえると良い。

事務局 ナトぼたについては、本人確認のための機能が未実装であり、身分証代わりとすることについては検討中である。市民本位で使いやすいものになるよう努めていきたい。

委員 【第2節（1）ア3番】自治体情報システムの標準化とはどのようなことか。

事務局 現在、自治体ごとでシステムを運用していることから、仕様変更の際、非常にコスト高になっている。標準化したシステムに揃えることで調達のコストも下げるというもの。ほか、データをクラウド上に置くことで、災害時に利用できなくなるというリスクを軽減するというもので、令和7年度中に全ての自治体で標準化完了という国の目標に基づいて、進めているところである。

委員 【第2節（2）イ1番】電子自治体とは。

事務局 これまで利用者は、来て、書いて、提出して、待つというものだったが、「書かない窓口」などのデジタル化を進めていけば、利用者も時間を短縮できるというメリットがある。そのような取り組みを自治体で進めていくというもの。

委員 【第2節（3）】数値目標は設定しないのか。

事務局 個別計画である「地球温暖化対策実行計画」において数値目標を設定している。

委員 【第3節（2）ア3番】人事評価の実施は年に1回か。

事務局 年に1回実施している。

委員 【第3節（2）イ2番】民間企業にも派遣してみてもどうか。

事務局 組織文化が異なるところで見聞を広げることは非常に重要であると考えている。内容については、総務課とどこまで踏み込めるか検討していく。

委員 【第4節（2）ア7番】企業誘致は令和11年度までに5社以上と土地にかかる契約をするということか。

事務局 愛島台や北釜地区の市が所有している土地を工業団地等、分譲を進めているもの。

委員 市内に点在する土地についてはどのように考えているか。

事務局 第4節（2）ア2番の遊休土地の資産活用の中で積極的に売払いを進めていく。

委員 【第4節（2）ア1番】ネーミングライツについては、具体的にどこを想定しているのか。

事務局 図書館や文化会館、公園、歩道橋など広く考えていきたい。

委 員 【第4節(2)ア2番】市の遊休土地を団体の事業で使いたいと考えたときに、
市民が知る手段はあるのか。

事務局 処分を行うこととした土地は、その都度ホームページで告示しているが、市内の
遊休土地の全ての情報が見られるところは現状ない。市の担当窓口で直接相談し
てもらいたい。

委 員 【第4節(2)イ2番】夜間休日納税相談窓口について、実施する効果は大きい
のか。ワークライフバランスの改善も考えていく中で、職員の負担にも配慮すべ
きではないか。

事務局 納税相談は、有効な手段と考えている。並行して週休日の振替を徹底するような
職場環境づくりについても進めていきたい。

(ほかに意見等なし)

6 その他 今後のスケジュールについて

12月に行政改革推進本部後、パブリックコメントを実施し、計画案を決定する。

7 閉会

以 上

令和 7 年 1 月 6 日

会 長 永澤 雄三